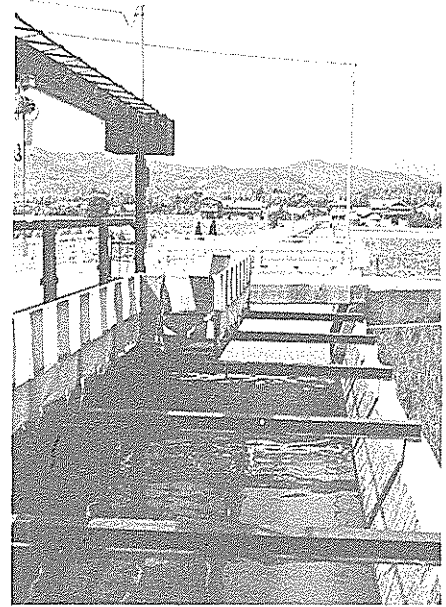
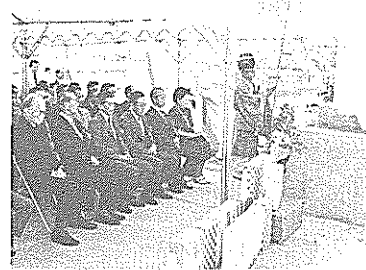


長岡北部の排水路完成

北陣山～北三島間2247m



完成した北部第二排水路



記念碑の除幕式

県営物部川かんがい排水事業として進められていた、長岡北部第二排水路がこのほど完成、五月二十六日、工事関係者や地元住民約七十人が集まり、落成式と竣工記念碑の除幕式が行われました。

この地区は、昔から浸水被害に悩まされ、昭和三十六年長岡北部地区排水期成同盟会（現会長「小倉幹雄さん」）をつくり、運動を進めて来ました。しかし、国分川の下流域での浸水問題などが起り、なかなか話が進展しませんでした。が、五十四年になってようやく工事に着手。五十六年三月には、広域農道北側に沿って国分川までの一、〇四三メートルが完成、その後陣山～北三島間延長二、二四七メートルの排水路が整備されました。

式には、窪田県農林水産部長や小笠原市長らが出席し、横堀ゲートでテープカットを行い、最後にはもち投げをして、長い間待ちわびた排水路の完成を、地元住民とともに祝いました。

ハナシヨウブ咲く

百数十種、数千本がみごとに



観光コンパニオンを募集

7月11日まで市商工会で

市商工会（全村雅男会長）では「南国市観光コンパニオン」を次のように募集します。

この観光コンパニオンは、市商工会等で開催する各種観光事業のお手伝いをしていただくものです。多数のかたの応募、また近所や職場などからの推せんもよろしく願います。

◎応募資格・高卒以上満十八歳以上二十五歳未満で、市内に住んでいる健康で明るい女性。

◎募集人員・若十名

◎応募方法・履歴書に身長、体重、バスト、ウエスト、ヒップを記入し、写真（手札サイズ）を添付してください。

◎応募期間・五月十六日～七月十一日まで。

◎選考
第一次選考 七月十五日（書類審査）

◎発表・審査結果は後日、本人に直接通知し、南国市観光物産まつり（十一月上旬開催予定）で発表します。

◎条件・観光コンパニオンのかたは、向こう一年間（五十九年七月末日までの予定）観光事業に随時出務していただきます。

◎応募先、その他お尋ねは……
大埔甲一六三五一四 南国市商工会 ☎43073
③2985まで。

水の事故から守って…

夏を呼ぶ「エンコウ祭り」

水の事故から「子どもたちを守って」と祈る「エンコウ祭り」――六月四日、前浜後川の川筋には、楽しい祭りに子どもたちの歓声が沸きました。

その昔、前浜の海岸で塩を取っていたころのこと。馬の背に塩をいっぱい積んで、赤岡へ売りに行く途中、後川を渡るとき、たびたびエンコウが馬の足を引っ張り住生した。そんなことから、年に一

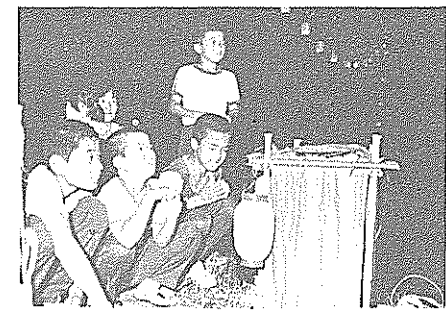
度地元の人々が、エンコウの好物を供えて祭るようになった――という話も残っています。

この祭りは、男の子が主役。まず手分けをして、ショウブの葉を集め、上級生の指示に従って「社（やしろ）」を作ります。それから回りにちようちんを飾り、社の中にはエンコウの好物キュウリもみも供え、花火を準備して用意万端。

夕暮れ時になり、家族連れでお

参りに来るころには、にぎやかに花火も上がり、まさに夏祭り気分です。最後は、子どもたちだけが集まって、おきやく。お母さんの作ってくれたそうめん、ちらし寿しに舌鼓を打ち、楽しい時を過ごしていました。

この後川は、以前は流れが曲がりくねっていて、大人の背の深さの所もあり、見るからにエンコウが住んでいそうな場所だったそうです。しかし今では、川幅も狭まってくる水は濁り、さぞエンコウも「住みにくくなったなあ」と、感じているかも知れません。



水の事故がないように、と祈る子どもたち

手信号など学ぶ

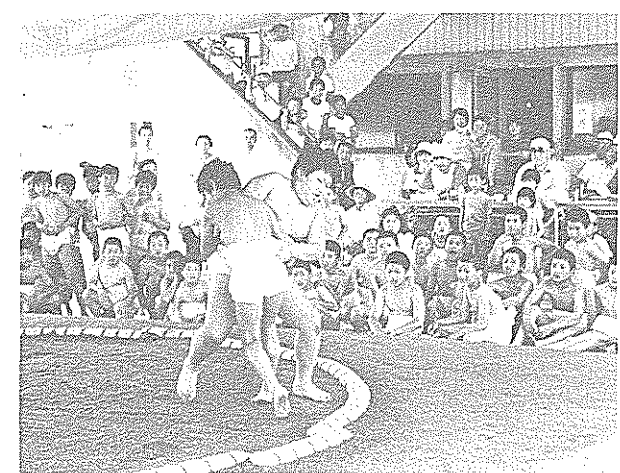
大篠小5年生全員が

大篠小学校では五月三十日午後、五年生全員が自転車の正しい乗り方を学びました。

これは、子どもたちの交通事故が登下校の時よりも、家に帰って遊んでいる時に多く発生していることから、自転車の正しい乗り方を身につけてもらおうというものです。

まず、交通婦人巡視員からパネルによって基本となる手信号などの交通ルールを習ったあと、全員が自分の自転車に乗って実技を練習しました。

多くの生徒たちは、普段あまりしたことのない右・左折の手信号などの慣れない動作に戸惑っていましたが、自分の身を守るためとあって、みんな一生懸命取り組んでいました。



豆力士も熱戦

火鎮祭の相撲大会

「火鎮祭」の行事として毎年行われている相撲大会が五月二十九日、市立相撲場で開かれ、大勢の相撲ファンでにぎわいました。

まず午前中は、中学生相撲が行われ、県下で実力No.1の明徳中が団体、個人ともに優勝。消防署對抗相撲（二番三チーム）では団体（藤岡、岡田、坂本、個人（岡田））ともに南国が優勝しました。

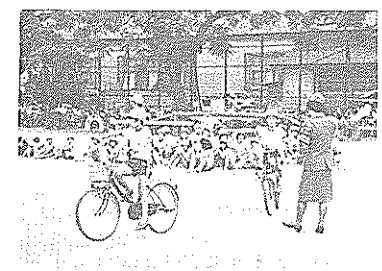
市内七小学校から、四年生以上八十人、二十一チームが参加して行われたわんぱく相撲には、たくさんのお母さんが訪れ、熱戦が繰り広げられました。小さな体の子どもが、大きな子を倒すとさかんな拍

手。この日は、熱い声援が一瞬中響いていました。

なお、わんぱく相撲の成績は次のとおりです。

団体 ①稲生A ②十市A ③十市B

個人 ①四年生の部 ①小原直城（大篠小） ②井上裕康（稲生小） ③坂田原満也（大篠小） ④五年生の部 ①小川容弘（大篠小） ②植村寿夫（三和小） ③中平和邦（十市小） ④六年生の部 ①鍋島徹（十市小） ②吉岡総（長岡小） ③弘光浩二（稲生小）



手信号の勉強をする生徒